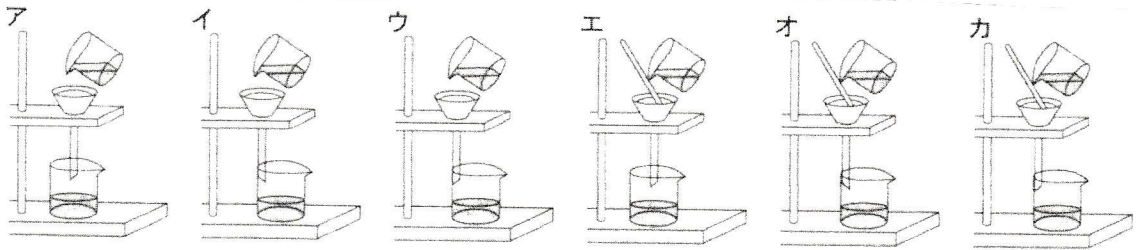


(d) とり出した結晶を乾燥させ、質量をはかる。

(e) とり出した結晶を蒸さじで少量とり、スライドガラスの上ののせ、ルーペや顕微鏡で観察する。

(f) 冷やしても結晶が出てこないビーカーは、ガラス棒で水溶液を1滴スライドガラスにとり、水を蒸発させ、ルーペや顕微鏡で観察する。

(1) 手順の方法として、適切+ものを、次のア~カから1つ選んで、その符号を書きなさい。



ろうとのおしの長い方をビーカーの壁につける。  
液体をろうとに注ぐときはガラス棒を用いて注ぐ。

(カ)

(2) 手順(d)において、

ビーカー A~Dのうち、出てきた結晶の質量が最も大きいビーカーはどれか、A~Dから1つ選んでその符号を書きなさい。

表2

物質 \ 水の温度 [°C]	20	40	60	80
塩化ナトリウム [g] A	35.8	36.3	37.1	38.0
硝酸カリウム [g] B	31.6	63.9	109.2	168.8
ミョウバン [g] C	11.4	23.8	57.4	321.6
砂糖 [g] D	203.9	238.1	287.3	362.1

水 100g を用いた場合として考えると、A~D の物質をそれぞれ  $75.0 \div 2 = 37.5$  (g) 加えたことになる。これらの水溶液を 20°C まで冷やしていくと、A は  $37.5 - 35.8 = 1.7$  g、B は  $37.5 - 31.6 = 5.9$  g、C は  $37.5 - 11.4 = 26.1$  g、D は全部とけて結晶は出ない。よって、生じる結晶が最も多い 'C' が正解。

(C)